



IMJ NEWS LETTER

平成23年 『新春の挨拶』

“統合医療飛躍の年”

一般社団法人 日本統合医療学会
理事長 渥美和彦

新春 明けましておめでとうございます。

今年は“卯の年”、文字通り飛び跳ねて『統合医療』は次のステップに飛躍すべき年です。

昨年は、民主党の窓口である枝野幸男幹事長代理(現、内閣官房長官)と会談し、マニフェスト通り、統合医療を推進するとの言質を頂戴するに至りました。

次いで、細川律夫厚生労働大臣と会談し、専門委員会の設立とCAMへの研究費の支出についての要望を行ってきました。

また、鈴木 寛文部科学副大臣とは2月上旬にも会談を予定しており、『統合医療地域センター』設立に関する国家予算の計上とデータベースの設計などについての要望を伝える予定です。

『統合医療』は単に医療分野のみに止まりません。本学会は我が国の政府に対して『統合医療』を欧米やアジア諸国のように、医療だけでなく、産業、食糧、国交、外交に至る幅広い省庁が関連した国家戦略として取り組むよう、本年も継続して強く要望する所存です。

その為に、ここ数年来、CAMの各専門領域との連携を深めて参りましたが、その連携をより強固なものにすべく、各関連学会と研究費の獲得、人材の教育および派遣などについて、更なる検討を重ねています。

最近、『統合医療』という4文字が各種のメディアにおいて使用され、誤った認識の下、無秩序に氾濫するという憂慮すべき状況に陥っています。そこで、今年は『統合医療』を正しく理解して戴く為に、解り易いガイドブックを作製し、市民や利用者レベルへの正しい情報の発信と普及を目指したいと考えています。

昨秋、中国およびインドを訪問しましたが、両国とも経済発展が著しく、健康・医療の問題が焦眉の緊急課題・政策となっており、この両大国が国策として『統合医療を積極的に推進する』という傾向が、今後の世界の医療モデルの主流となることは疑いようもなく、インパクトは極めて大きいと考えています。

以上、『統合医療』推進の諸条件は、国の内外ともに成熟しつつあり、今年こそ『統合医療』を実践に結びつける大いなる飛躍の年であると考えております。

つきましては、それに向けた会員の皆様の一層のご努力をお願いする次第です。

平成23年1月吉日

発行元

一般社団法人 日本統合医療学会 本部
〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2
Email : info@imj.or.jp
FAX : 03-3812-5167